

令和４年 湖西市議会１２月定例会

市 長 あ い さ つ

令和４年１１月３０日

皆様、おはようございます。

本日から、令和4年12月 湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

今日で11月もおわり、朝晩は冷え込み、日中との寒暖の差が大きい時期となりました。また、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も各地で懸念されています。皆様には、体調など崩されないようご留意いただきたいと思います。

（新型コロナウイルス対策等）

新型コロナウイルスについては、すでに第8波に突入したと言われており、インフルエンザとの同時流行を含め、年末年始に向け感染拡大が懸念されています。感染が拡大した場合には、医療機関での検査や受診の集中による医療のひっ迫により、新型コロナ以外でも緊急に受診が必要な方の診療に遅れが出ないようにする必要があります。

このため、市では医師会の皆様にご協力をいただき、12月から2月までの日曜・祝日、年末年始における発熱外来の体制を拡充することとしています。また、オミクロン株対応2価ワクチンの接種を10月1日から、乳幼児のワクチン接種も、11月9日から開始しました。感染予防及び重症化を防止するため、ワクチン接種を希望される方が、速やかに接種できるよう、医療関係者の皆様に大変ご尽力いただいているところです。10月21日から、最終接種からの接種間隔が3ヶ月以上と短縮されました。接種を希望される方につきましては、積極的な接種をお願いできればと思います。さらに、体調不良時の備えとして、市販の解熱剤や検査キットを家庭に常備していただくこと、自宅療養に備え、食料品の備蓄についてもご検討をお願いできればと思います。

新型コロナ対策と合わせて、経済対策も進めていかなければなりません。6月に補正予算を可決頂きました、湖西市プレミアム付きデジタル商品券、愛称を「コーちゃん Pay」とさせていただき、11月22日から申し込み受付を開始しました。多数の場合は抽選となりますが、12月8日まで申し込みを受け付け、購入の後、12月21日から利用開始となります。年末年始をはじめ多くの方にご利用いただき、地域経済の活性化に繋がりたいと思います。

（市制 50 周年記念事業等）

市制 50 周年記念事業においては、感染症対策と社会経済活動との両立を図るため、様々な行事を開催しています。

5 月 14 日の式典で、素晴らしい演奏をされた航空自衛隊 中部航空音楽隊の指導をいただいた市内の中学・高校生などによる「アニバーサリーコンサート」や「こさいグルメスタンプラリー」などを実施したほか、新居高校生による「高校生議会」では、防災をテーマに、ピクトグラム看板による避難誘導や備蓄品の提供等、自助・共助の重要性と、高校生として出来ることは何かを考え、前向きなご提言をいただき、非常に頼もしく感じました。合同防災訓練など、出来ることから、実現していきたいと考えています。

10 月 30 日の豊田佐吉翁顕彰祭では、式典のあとに鷺津小学校の 4 年生による佐吉翁の劇の披露をいただき、午後には、トヨタ自動車の豊田章男社長から中学生向けの特別授業を行っていただき、カーボンニュートラルや水素エンジンへの取組、水素エネルギーの実験・体験などを行いました。中学生から豊田章男社長に、直接質問し、すべて丁寧に答えていただくなど、未来を担う子どもたちにとって、大変貴重な機会となりました。

湖西市のプロモーションのための新キャラクターにつきましては、おいでん祭でデザインを発表後、名前を公募したところ、3,366 通もの応募をいただき、作者の稲空穂さんや若手職員 PT により、「うなぽん」と決定しました。子どもたちや大人からも「かわいい！」との評判を頂き、Twitter のフォロワーも順調に伸びています。今後、湖西市の魅力発信や、知名度アップへの活躍に期待しています。もちろん、コーちゃんにも、今までどおり湖西市のシンボルとして、多方面で活躍いただく予定です。

市制 50 周年もいよいよ終盤となり、ご当地グルメにつきましては、食材として湖西市産の「豚肉」に決まり、今後の PR 方策などを、実行委員会を中心に検討いただいているところです。12 月には、「青少年の科学体験」、「親子で楽しむコンサート」、「多文化共生 ZOOM 討論会」などを予定しています。これらにも「うなぽん」に登場いただく予定となっています。引き続き、多くの市民の皆さまに参画をいただき、思い出に残り、10 年後、50 年後の未来、次の世代に繋がるよう、楽しんでいただきたいと思います。

（持続可能な未来へまちづくりWG、地域医療・畜産臭気の連携協定等）

さて現在、令和5年度予算編成を進めており、短期的にはもちろんですが、中長期的な視点に立った政策を、進めているところです。

11月16日には、「みらいのこさい・まちづくりワーキンググループ」を立ち上げました。政策参与にご就任頂いた平松宏城さんに、ファシリテーターを担っていただき、若手職員やKSLメンバーなどの参加により、ウォーカブルシティなど世界のまちづくりを参考に、湖西市でどのようなことが出来るか検討し、可能なものから、現実的なまちづくりに繋げていこうとするものです。第1回から若手の方々と前向きな話が出来たと、平松さんからもお聞きしました。年度末にかけて引き続き意見交換を行ってまいります。

DXの推進においては、電子申請による証明書等取得サービス「行かない」「書かない」市役所への取組を、年明け1月4日から開始します。住民票や所得証明などを電子申請し、手数料はクレジット決済で行い、自宅ですべての手続きから取得までが完結します。水道スマート窓口の実証実験も、令和5年4月から開始予定です。

防災においては、令和4～5年度で進めている「湖西市津波防災地域づくり推進計画（いわゆる防潮堤等の策定計画）」について、11月の3日間にわたり、各地域での津波防災への課題や取組等、ヒアリングを実施いたしました。引き続き、地域の皆様との意見交換会を継続し、防潮堤等の必要性・内容の可否を決定し、実行に移してまいります。

また、持続可能な湖西市のためには、行政だけでは手の届かないところも、現実にあります。そこで、地域課題の解決に前向きな企業などとの官民共創に依るべく、11月24日には浜名湖電装・キャノンマーケティングジャパンとの「畜産臭気対策に関する連携協定」を締結させていただきました。モノづくり企業との連携により、畜産臭気の低減による定住促進と産業振興の両立を図ります。また他の分野においても、例えばオープンデータを活用した市民サービスの向上に向け、ソーシャル・エックスによる逆プロポなどの手法に依り、官民共創を進めているところです。

さらに、11月25日には、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、湖西市と浜松市、湖西病院と浜松医療センターにおける連携協定を締結させていただきました。これにより、医師の派遣、看護師の育成、助産師の派遣による産科・産前産後検診の充実、高度急性期医療と回復期リハビリ患者受け入れなどの機能分化・役割分担を行うなど、持続可能な医療体制へ、大き

な前進であると考えています。両市が連携・協力し、さらに安心・安全で質の高い地域医療を、市民の皆さまへ提供してまいりたいと思います。

加えて、モノづくり人材育成や産業ネットワーク、土地利活用の推進など、中長期的な視点から「職住近接」の推進による、湖西市の持続可能な発展に向け、頑張ってまいります。

さて、今回の定例会に提案させていただきます案件は、条例の新設、補正予算など合計 22 件です。皆様方におかれましては、建設的かつ前向きなご提案やご議論をお願いし、私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

(以 上)